

つながりの創造 “活躍する同窓生”

同窓会
×
卒業生

エネルギー業界
×
コミュニケーション

株式会社荒木石油店
専務取締役

荒木 輝彦さん

経済学部1993年卒業。卒業後、出光興産株式会社に就職。横浜支店勤務を経て、1995年より現会社に勤務。1999年に専務取締役に就任。豊橋市在住。

— 現在の仕事とやりがいを教えてください

東三河地域を中心として、石油類の販売業を行っています。皆さんもご存知のとおり、この業界は、環境問題や省エネ、若者の車離れ、原油価格高騰による燃料高などで需要が大幅に減っており、競争も激しい。しかし、この逆境の中、知恵を出し合ってやりぬくことが、私自身のやりがいにつながっています。満足できれば、少し離れていても選んでくれる方は必ずいるはずなので、社員には「自信を持ってしっかりとしたサービスをしていこう」と声をかけています。

— 大学時代に学び、今に活かされていることは？

所属していた体育会剣道部で、礼儀作法を厳しく指導していただいたことでしょうか。大きな声で自然にあいさつができる、整理整頓、靴を揃えるなど、社会で必要とされる基本が身に付きました。姿勢を褒められることも多いですね。また、先生方や先輩・後輩等、多くの友人を得られましたし、今も相談できるつながりを持てたことは大きいです。そのご恩を返そうと、地元の道場で小学生に剣道教室をボランティアで開いています。

— 今後の目標を教えてください

SSで店舗を運営していたとき、自分が率先して行えば皆も動いてくれるはずだと思っていたのが、からまわってしまったことがありました。人は指示だけでは動かない。自分の思いを熱心に相手に伝えて、気持ちを向けてもらうことが大切だと学んだのはこのときです。

その経験から、今一番大切にしているのはコミュニケーション。1人で意気込むよりも、皆と徹底的に話しをして同じ思いを持ってもらい、この苦境を乗り越えていきたいです。そして、仕事でも社会においても、必要とされる人間となるよう、全力で取り組んでいきたいと思っています。

大切なのは
思いを熱心に伝え、
気持ちを向けてもらうこと

荒木さんのお仕事を拝見!



ボランティアで行っているという剣道教室。これまで先生方に教わったさまざまなことに対して、ご恩返しをしたいと始めたそうです。今の時代は、前向きな発想で、他社と異なる戦略を徹底して行うことが必要」と、荒木さんは会社を力強く支えます